

# 図書 だより

第3号

2023年7月12日

邑楽中学校

図書委員会



☆~★~☆~★~☆ **もうすぐ夏休み!** ☆~★~☆~

部活動に宿題、あれもしたい、これもしたい、邑楽祭りにも行きたいと、思いだけはてんこ盛りの皆さん! 気がついたら夏休みが終わってた(T-T)なんてことにならないよう、今からしっかり計画を立てて、楽しく夏を過ごしましょう。気になっていた本やシリーズ本などまとまった読書をするのにも絶好の時期ですよ。



☆ **貸出冊数 1人5冊まで**

(6. 7. 8月が誕月の人は+1冊1回のみ)

☆ **貸出日 7月10日~20日**

☆ **返却日 8月28日~31日**

## 本を読んだらチャレンジしよう!

□①第69回

青少年読書感想文

全国コンクール

□課題図書□

課題図書は右に

紹介した3冊です。

課題図書の他に

自由図書(好きな本)

での応募も可能です。



『スクラッチ』歌代 朔/著 あかね書房

コロナに翻弄されながらも自分と向き合い、互いを認め合い大切なものを尊重し合う4人の中学生たちのスクランブル小説。スクラッチという表題だが、作中に登場する絵の技法のこと。なぜか「岸边露伴ルーヴルへ行く」が思い浮かぶ。



『アップステージ』ダイアナ・ハーモン・アシャー/作  
武富博子/訳 評論社

アメリカの中学では演劇やミュージカルも正式な授業でそれこそ“正解”なんてものではなく、出した答えは自分で受け止めるものらしい。恋も涙も失敗も楽しんだ者勝ち?



『人がつくった川・荒川』長谷川 敦/著 旬報社

この本を読むと荒川を歩いてみようかな?と思うかも。秀吉や家康、そしてパナマ運河も荒川と関係があるんだ。花火で有名な隅田川も元は荒川でした。ところで川を眺めてどちらが右岸か左岸かわかりますか?(→答えはP126)

詳しくは<https://www.dokusyokansoubun.jp/>

読書感想文



書ける人は書こう!



②「お気に入りの一冊をあなたに読書推せん文コンクール」にチャレンジしてみるのもすてきですね。あなたの好きな本をぜひとも読んでほしい人を思い描いて、熱い気持ちを伝えましょう!原稿用紙250~300字。  
詳しくは<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/okiniiri/>



③「マンガ感想文コンクール」もおすすめてです。

好きな漫画を読んで感想送ってみましょう。

マンガといっても書く視点は本と同じです。発見や感動を自分の言葉で伝えよう!原稿用紙1200字以内。

詳しくは<https://www.manga-kansoubun.jp/>

